

第52回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会

感想文

1面でもご紹介しました「第52回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会」に参加された方々の感想をお聞きしました。お忙しい中感想を寄稿して頂いた皆様、誠にありがとうございます。



研究大会に参加して
本部海陽園保護者会
会長 棚原 勉

平成最後の今大会への参加と共に、本部海陽園、保護者会前会長でありました、田村信一様の功績に対する表彰に、感謝申し上げます。
基調講演における、目まぐるしく変化していく障害者制度について、田中正博氏より説明がありました。親の立場から我が子の成長と共にサービスの選択を行ってきたが、本人の意思を尊重し、体験、経験する機会をもたせることの大切さを改めて感じております。
また、当事者の意見発表を聴くなかで、我が子らが自分の人生を楽しめる環境づくりと、親子後安心して暮らしていける「人」「場」とのつながりを、職員の方と行っていききたいと思えます。
私も沖縄県手をつなぐ育成会役員として過去8年間務めてきました。が、今後共、親兄弟ご家族が求める研修大会に参加していききたいと考えております。



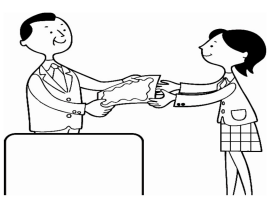
研究大会に参加して
八重山地区手をつなぐ育成会
白玉 敬子

「第五十二回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会」に、初めて参加させて頂きました。特に感銘を受けた事は、本人意見発表で3名の方が、堂々と意見を述べ、質疑応答にしっかり対応していたことに、とても感動しました。
「親亡き後のだいの人生」を発表しました古謝善章様の意見は、今、まさに私に突き付けられている課題です。
お話を聞きながら、いつまでも元気で、お仕事が出来、安心して過ごせる「終の棲家」を見つけた事が、これからの私の取り組みだと改めて思いました。
手をつなぐ育成会と共に、バリアフリーの社会を目指して行きたいと思えます。



研究大会本人部会で発表をして
沖縄市手をつなぐ育成会
太田 純子

大きな舞台の上で表彰状を受け、少し緊張しましたが、上手にできましたと思えました。
家で待っていてくれるお父さんにも喜んでもらい、お祝いということでも、お母さんと一緒にステーキを食べに行きました。
「純子がはじめに仕事も休まず頑張ったからもらえたんだよ、良かったね」とほめてくれました。
自分に少し自信ができたので、これから仕事にもいろんな事に挑戦したいと思っています。
ありがとうございました。





「第5回全国育成会連合会全国京都大会」に参加しました♪

去った2月23日(土)24日(日)に開催されました「第5回全国育成会連合会全国京都大会」に参加された方々の感想をお聞きしました。
お忙しい中感想を寄稿して頂いた皆様、誠にありがとうございます。



全国京都大会に
参加して

本部町心身障害児者親の会
上間 光子



テーマ「つなぎたい!これからの教育と地域福祉」
児童発達支援・放課後等デイサービスで療育に携わる中で、今回の大会は、多くの関係機関との「連携」の重要性を改めて認識させられた学びの時間でした。

◎早期から本人や家族の不安に寄り添える体制作りの大切さ。
◎教育と福祉との連携の大切さを学びました。

早期からの丁寧な支援が将来への就職やより良い社会生活へ結びつく事。
皆と違っていい、それぞれの得意を活かせる支援をする等。
今回の大会で学んだ事をぜひ職員にも伝え、共通理解を持つて良い支援ができるよう努めたいと思いました。



全国京都大会に
参加して

支援センターあけぼの
支援員 岸本 良彦



今回初めて全国大会に参加させて頂きました。
私が参加した分科会では「教育・療育」の支援がテーマで行われました。

基調講演で、知的障害やダウン症のベースに実は発達障害がかなりな割合であるという知見のお話があり「発達障害をせいするものはすべてをせいす」と言うお話が印象的でした。

またシンポジウムでは講演者の先生方の熱いお話もあり、いろいろな機関との縦のつながり・横のつながりの大切さ、教育課程から就労へ移行する際の学生時代からの引き継ぎ(切れ目のない支援体制)や個人特性に合わせた支援工夫の重要性、親もさぼらないように(親も子どもも)の特性を理解し、一番の理解者・支援者になるための勉強の必要性)など、いろいろと学ぶ事が多かった大会参加でした。



全国京都大会に
参加して

豊見城市手をつなぐ育成会
前村 夏子



上智大学の塚教授の講演を拝聴して、障害者総合支援法の見直しについて、深く考えさせられました。

施設入所者は年々少なくなっているが、ケアホームやグループホーム利用者が多くなっているという事例報告から、地域で支えていくことの大切さを学びました。

私が印象に残っていることは、「社会福祉法人ゆうかり」理事長の講話で、親亡き後の施設として、グループホームで快適に生活しているという事例報告の映像を拝見したことです。
最後に、今回の研修で学ぶ機会を与えていただけたことに感謝すると同時に、これからは地域の人達と連携しながら、共生社会を目指して歩んでいきたいと思っております。



理事長行事報告 3月

- ★3月5日(火) 県庁 沖縄県障害者自立支援協議会
- ★3月6日(水) 東京都 全国事業所協議会運営委員会
- ★3月7日(木) 東京都 全国育成会連合会フォーラム
- ★3月8日(金) 東京都 全青連事務局長会議・行政説明会
- ★3月9日(土) 県総合福祉センター 第52回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会
- ★3月26日(火) 福岡市 事務処理運営説明会
- ★3月28日(木) 県総合福祉センター 第5回理事会

理事長行事予定 4月・5月

- ★県内
 - ★4月8日(月) 県総合福祉センター 沖縄高等特別支援学校入学式
 - ★5月26日(日) 県総合福祉センター 平成31年度定期総会
- ★県外
 - ★4月13日(土) 14日(日) 福岡市 知的バスケットボール九州予選会
 - ★4月19日(金) 熊本市 第1回九育連会議
 - ★4月20日(土) 21日(日) 北九州 知的サッカー九州予選会
 - ★5月11日(土) 長崎県 知的フットベースボール九州予選会

『手をつなぐ・うちな』編集者
 理事長: 田中寛
 事務局: 高原 奈々・東江 早苗

田中理事長のゆんたく広場

気が付いたら、「春らんまん」の4月ですね。
 「春らんまん」は、春の花が咲き、光に満ち満ちた様子を表象現と、辞書には書いてあります。
 振り返ると昨年末から、「信頼」という二文字について、冬の寒さ以上の厳しい試練の中で、小心者ゆえに眠れぬ日々を過ごしているうちに、いつのまにか新しい年度を迎えました。
 「『冬(ふゆ)来(きた)りなば、春(はる)遠(と)からじ』と、苦境を耐えぬけば、やがて幸福・繁栄の時期を迎えられる」というたとえもあるように、公私ともに新年度はきつと素晴らしい出来事に遭遇することを期待したいと思えます。
 「念じれば通ず」ですか？

『手をつなぐ』配布募集



機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。
 お申込みご希望の方は、
 県育成会まで一度ご連絡下さい。
 *年間購読料 3,900円



30年度賛助会員 敬称略

団体 本部海陽園保護者会
 就労支援センター首里

本年度も沖縄県手をつなぐ育成会へのご支援に対し心より感謝申し上げます。
 誠にありがとうございました。

31年度賛助会員 加入のお願い

【賛助会員の趣旨】
 知的に障がいのある子を持つ親等を中心に結成され、「知的障がい者(児)の心豊かな暮らし」、「社会が障がいの有無に係わらず相互に人格と個性を尊重し合う共生社会」の現実を目標に活動をしています。
 その目標の下、知的に障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、育成会文化祭り、沖縄県ゆうあいスポーツ大会、研修会、本人活動支援事業等多く事業に取り組んでおります。
 当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。



理事通信

第5回全国京都大会に参加して

理事 仲井眞 勇



今回の大会参加にあたっては、事前にツアーでの参加の申込みがありました。私の都合で、大会2日目の2月24日(日)からの参加となりました。
 会場の国立京都国際会館は広大な建物で、当日は沢山の会員の方々が会場を埋め尽くし、大会が始まりました。
 大会開催前には、地元京都育成会婦人部による合唱が始まり、大会の長年の挨拶、ご来賓の方々のご挨拶と続き、その後私を含む36名の表彰状の授与がなされ、10時頃に一旦休憩に入りました。
 私は帰りの飛行機の都合でこれから始まる諸先生方のお話を聞くことが出来ず、残念ながら帰ってまいりました。
 今回の受賞にあたり、沖縄県手をつなぐ育成会田中理事長をはじめ、たくさんの方々のご推薦をいただき、感謝申し上げます。
 これからも、沖縄の障がい者が生活しやすい地域づくりのために微力ながら尽くす所でありたいです。

